

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション —



みんなとともに



2学期の終業式では、「ハレの日」と「ケの日」について話をする予定です。「ハレの日」とは「お祭りのような特別な日」で、「ケの日」は「農作業に従事する通常の日」になります。これは若い頃に聞いた話なのですが、なぜか忘れずに覚えているのです。学校の生活にも通ずるような気がしています。この続きは、終業式から帰ったお子さんにお聞きください。



文集「すかわ」作成への支援の申し出、とーってもうれしいです！

「文集『すかわ』作成にあたっての調査」をお願いしたところ、保護者の皆様からたくさんの「支援の気持ち」をいただきました。「こんなこと学校でやれよ」とか「保護者にやらせるなんて筋違いだろ」とかの厳しい声が寄せられるものと覚悟をしていますが、保護者の皆様の温かい気持ちに接し“涙が出そうな思い”です。今回の回答をもとに、今後について検討してまいります。

【回答結果】

	1 パソコン入力		
	自分の子どもなら	4人分程度	10人分程度
1年	4家庭 (7人分)	1家庭	3家庭
2年	4家庭 (6人分)	10家庭	2家庭
3年	3家庭 (4人分)	5家庭	4家庭
4年	8家庭 (11人分)	2家庭	4家庭
5年	4家庭 (4人分)	7家庭	4家庭
6年	8家庭 (8人分)	6家庭	6家庭
協力数	31家庭 (40人分)	31家庭 (124人分)	23家庭 (230人分)
※ () は、上の子がokの場合は 下の子どもokとカウントした数		1家庭に4人分ずつお願いすると 「4人分/1家庭」×54家庭 (216人分)	

	2 印刷作業			3 丁合作業
	1日	2~3日	1週間程度	
1年	2家庭 (1家庭)	(2家庭)	1家庭	5家庭 (2家庭)
2年	3家庭 (4家庭)	3家庭		8家庭 (4家庭)
3年	1家庭 (2家庭)	1家庭		4家庭 (3家庭)
4年	3家庭 (2家庭)	1家庭	1家庭	6家庭 (2家庭)
5年	5家庭 (1家庭)	3家庭 (1家庭)	2家庭	9家庭 (3家庭)
6年	2家庭 (5家庭)	2家庭		5家庭 (3家庭)
協力数	16家庭 (15家庭)	10家庭 (3家庭)	4家庭	37家庭 (17家庭)
30家庭 (18家庭)				

※ () は、「休みなら可能」など条件付きの回答の数

【校長のつぶやき】 その23 「『教育活動の充実』と『働き方改革』のバランスの中で」

「働き方改革」が叫ばれ、学校も改善を迫られている。誤解をしていただきたくないのは、「教職員が楽をするため」のものではない、ということである。その目的を私なりに要約すると、「より授業の質を高める」「より子どもたちに向き合う」ために「業務の適正化への改革を行うこと」となる。「働き方改革」は「子どもたちの健やかな成長」につながっているのである。

学校は、保護者や地域の皆様の期待を受け、ここまで「何でも」引き受けてきた。学校への批判も「甘んじて」受けてきた。でも、どうだろう。もう「限界」である。「学校は、そして教職員は万能ではない」ことを強く発信すべきときにきているのではないだろうか。

今回、「文集『すかわ』」の作成にあたって「できない。もう無理だ。」と発信させていただいたところ、たくさんの支援の申し出があった。すぐ調子に乗る校長は、次年度に向けてどんどん「助けてー」と発信する考えである。本校は「ボランティア」ウェルカムである。教職員だけではなく、保護者、地域、外部講師など「みんなの力」で「子どもの笑顔」を実現していきたいと考えている。そして「保護者」「教職員」の「笑顔」も。